KBC 九州朝日放送
PRESS RELEASE

2021 年 9 月 22 日

九州朝日放送制作 ドキュメンタリー

「良心の実弾～医師・中村哲が遺したもの～」
第 27 回 PROGRESS 賞 最優秀賞受賞

テレビ朝日系列 24 社の番組審議会委員が選考する「第 27 回 PROGRESS 賞」において、KBC が制作したドキュメンタリー「良心の実弾 ～医師・中村哲が遺したもの～」が最優秀賞を受賞しました。受賞を受けて本作品は、テレビ朝日系列全社で放送される予定です。

「PROGRESS 賞」は、1995 年にテレビ朝日系列 24 社の番組審議会委員が推奨する最高の賞として、番組審議会委員の発意により放送番組のより一層の質的向上・系列各局の制作力の向上に資するものとして制定されたものです。「PROGRESS(プログレス)」とは、進歩・向上・成長を意味し、制作者たちの日頃の努力を応援するものです。
この表彰制度は系列全社が参加し、ジャンルは問わず自社制作の前年度(2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月末日まで)に放送された番組の中から 1 作品をエントリーし、各社の番組審議会委員による選考作業を経て決定されます。

本作品は、2019 年 12 月、人道支援を行っていたアフガニスタンで凶弾に倒れた福岡出身の中村哲医師が、アフガニスタンの大地に、人々の心に何を遺したのか。その生涯をたどりながら考えた作品です。ＫＢＣのアーカイブに残るＶＴＲ素材と、家族として初めてメディアのインタビューに答えた長女・秋子さんをはじめ、中村医師と親交のある多くの人々の証言を軸に制作しました。

本作品はドイツで開催された「ワールドメディアフェスティバル 2021」の「ドキュメンタリー・ヒューマンリレーションズ＆バリューカテゴリー」部門で「インターメディアグローブ銀賞」を受賞。国連との共催による世界最大規模の国際メディアアワード「ニューヨークフェスティバル」でも入賞。国内でも、平和や反核、人権擁護、人々の連帯などに関する優れた報道を表彰する「第 26 回平和・協同ジャーナリスト基金賞」で奨励賞を受賞しています。

◆番組概要

放送日	2020 年　5 月 29 日（金）10:10 - 11:05
	2020 年 10 月 23 日（金）10:10 - 11:05
	2021 年　5 月 30 日（日）25:55～26:50
スタッフ	プロデューサー：臼井 賢一郎
	ディレクター：河村 聡
	カメラマン：福山 博樹、小林 俊司
	編集：田中 健太郎
	音効：郡 孝司

◆作品内容

本作品は中村医師と共に事業を行ってきた人々、友人など親交のある人々の証言を軸に制作しています。中村医師は 1984 年に現地に渡り医療支援を行っていましたが、2000 年代に入ると、井戸掘りや用水路の建設に力を注ぎました。KBC に残る最も古い映像は、中村医師が現地に渡った翌年、1985 年のインタビュー。1992 年には、日本のメディアとして初めてアフガニスタンとパキスタンで中村医師の密着取材を行いました。
また、今回、中村医師の長女、秋子さんが、家族として初めてメディアのインタビューに答えました。番組ではこうした過去映像や数々の証言を構成し、中村氏の人生を辿っています。

◆受賞コメント（プロデューサー　臼井賢一郎）
「この作品が国内外のコンクールで評価を頂いたことは、中村哲医師の唯一無二とも言える存在感、崇高なる生き方が世界の皆さんに共感をもって受け入れられていると受け止めています。受賞を受けての全国放送で、より多くの人々に見て頂きたいと思います」

◆受賞コメント（ディレクター　河村聡）
「番組を放送した２０２０年５月、社会は新型コロナの脅威に翻弄されていました。そうした世の中を中村医師ならどう見るか、どう行動するか。そんなことを考えながら制作しました。見て頂いた人にとって何かを考えるきっかけになっていたら嬉しく思います。」



アフガニスタンでの中村哲医師
（1992 年 10 月）



中村哲医師のお別れの会
（2020 年 1 月 福岡市）